

## 東南アジア古典文化論

ブッタの生涯 ver 2.0 (2014-01-23)

### 1. ブッタをめぐるさまざまな名前

S. Sanskrit サンスクリット語、P. Pāli パーリ語、C. Chinese 漢語

- ・ブッタ (S.P. buddha, C. 仏陀) : 「悟った人」。
- ・ムニ (S.P. muni, C. 牟尼) : 聖者。
- ・アルハット (S. arhat, P. arahant, C. 阿羅漢, 羅漢) : 尊者。
- ・ボーディサットヴァ (S. bodhisattva, P. bodisatta, C. 菩薩) : 「悟りを求める存在 (人)」。
- ・シッダールタ (S. Siddārtha, P. Siddhattha, C. 悉達多) : 「成就された目的」 釈尊の幼名。
- ・ガウタマ (S. Gautama, P. Gotama, C. 瞿曇 (くどん)) : 釈尊の氏名。
- ・シャーキヤ (S. Śākya, P. Sākiya, C. 釈迦) 釈尊の種族名。
- ・タターガタ (S.P. tathāgata, C. 如来) : 修行の完成者。
- ・バガヴァット (S. bhagavat, P. bhagavant, C. 薄伽梵, 世尊) : 尊者。

⇒「ガウタマ・シッダールタ」「ゴータマ・シッダッタ」「釈迦牟尼」「釈尊」「如来」「世尊」  
⇒仏教の物語

仏伝：シッダールタ太子の生誕、出家、修行、成道、布教、入滅

ジャータカ (S.P. jātika, 本生物語) : 前世での菩薩の物語 (パーリ語聖典では 547 話)

### 2. 八相：ブッタの生涯における 8 つの重要なできごと

1. 下天 (げてん) (兜率天から白象の姿で降下) ⇒最後の「前世」。
2. 託胎 (たくたい) (マーヤーの胎内に入る)
3. 降誕 (ごうたん) (マーヤーの右脇から出生) ⇒「シッダールタ太子」として誕生。
4. 出家 (しゅっけ) (家族を捨てて修行に入る) 29 歳
5. 降魔 (ごうま) (菩提樹のもとで悪魔を降伏)
6. 成道 (じょうどう) (悟りを得る) 35 歳⇒ここまでは菩薩の段階。ここから仏陀の段階。
7. 初転法輪 (しょてんほうりん) (説法を開始)
8. 入滅 (にゅうめつ) (涅槃. 一生を終える) 80 歳⇒輪廻転生から解放される。

### 3. 八聖地：ブッタの生涯にかかわる 8 つの重要な土地

1. ルンビニー (誕生の地. ブッタの故郷の町はカピラヴァストゥ)
2. ラージャグリハ (王舎城. マガダ国の都)
3. ブッタガヤ (降魔成道の地)
4. ムリガダーヴァ (鹿野苑. 初転法輪の地)
5. シュラーヴァステイー (舎衛城. コーサラ国の都. ブッタが神変を見せる)  
千仏化現、双神変
6. サーンカーシャ (従三十三天降下の地)
7. ヴァイシャーリー (獼猴奉蜜 《みこうほうみつ》)
8. クシナガラ (入滅の地)

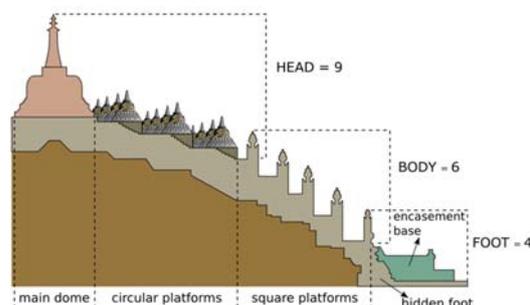
### 参考 URL

「仏陀の生涯」 <http://www.eonet.ne.jp/~kotonara/budanosyougai.htm>

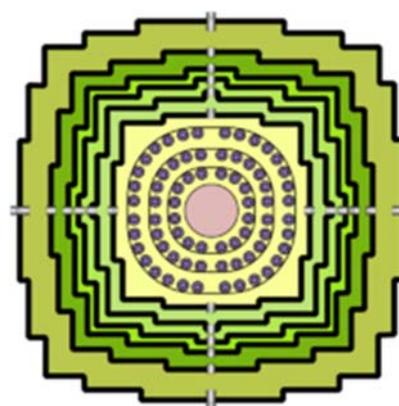
ジャワにおける仏教物語の進化 (ver 2.0, 2012-02-08)

1. 7世紀以降の東南アジア

- ◆ 部派仏教（上座部・有部）・大乘（密教）併存の時代
- ◆ 「あるいは大乘をとき、小乗をとき、あるいは実教をひろめ、権教をひろむ」（黒谷上人語灯録）
- ◆ 『南海寄帰内法伝』（義浄、7世紀）
- ◆ パーリ語『ジャータカ』第537話「マハー・スタソーマ・ジャータカ」
- ◆ ボロボドゥール寺院（中部ジャワ、9世紀）
- ◆ 部派仏教（上座部）レベル：浮き彫り
  - 仏伝、ジャータカ（サンスクリット）
  - 『ジャータカ・マーラー』第31話
  - 「スタソーマ・ジャータカ」
- ◆ 大乘レベル：浮き彫り
  - 『華嚴経入法界品』（善財童子の巡礼）
- ◆ 密教レベル：仏像



- 五仏思想
- 『金剛頂経』
- 第1層～第4層ニッチ
  - ◇ 東側…阿閼如来（触地印）
  - ◇ 南側…宝生如来（与願印）
  - ◇ 西側…阿弥陀如来（禅定印）
  - ◇ 北側…不空成就如来（施无畏印）
- 第5層四面ニッチ
  - ◇ 毘盧遮那仏=大日如来 Mahāvairocana（法身説法印）
- 円壇小ストウーパ
  - ◇ 釈迦如来（転法輪印）



2. 14世紀以降のジャワとバリ

- ◆ 『スタソーマ・カカウイン』
  - 密教に統合された仏教とヒンドゥー教
  - ジャータカ（スタソーマ・ジャータカ）
  - 菩薩の転生⇒大日如来の転生
  - スタソーマという主人公
  - 人食いの調伏というテーマ
- ◆ 「仏伝」の骨格
  - 王子としての出生
  - 結婚・家族⇒結婚前に出家
  - 出家・修行・悟り（ブッダ）⇒出家・修行・悟り（大
  - 出家者として布教⇒即位、王として結婚・家族、敵処



日如来)への対

- ◆ 菩薩としての道：知恵と慈悲（自利と利他）
- ◆ ヒンドゥーの英雄
  - 『マハーバーラタ』におけるアルジュナの苦行
  - 山中で苦行
  - 神から恩寵（武器）⇒大日であることの自覚
  - 悪鬼を倒す⇒悪鬼を調伏
- ◆ 不二元論：聖（僧）＝俗（王）、仏陀の教え＝シヴァの教え（Bhinneka Tunggal Ika）
- ◆ 物語としてはヒンドゥー教（シヴァ派）に対する優位を含意。
- ◆ 王（武力）⇒王＝僧（非暴力 ahimsā）